

第2章

學習指導



（二）「人間の心」の問題
（三）「人間の心」の問題

第1節

宿題の指導

1. 宿題を出す頻度

【宿題を出す先生と出さない先生に2極分化している。3割以上の先生が「2、3回に1回以上」宿題を出し、4割弱の先生がほとんど出さない。また、地域ごとにも宿題の頻度

が異なり、「2、3回に1回以上」宿題を出す割合をみると、多い県では5割だが、少ない県では2割強にすぎない。学年ごとには宿題の頻度の差は小さい。】

Q5. 宿題や家庭学習についてうかがいます。

A. あなたはどのくらい宿題を出していますか。

表2-1で、最初に全体からみると、11.7%の先生が「授業のたび」、20.7%の先生が「2、3回に1回」宿題を出している。これらを合わせると32.4%、およそ3分の1の先生が授業3回に1回は宿題を出していることになる。また、宿題を出す先生と出さない先生との2極分化が進んでおり、「ほとんど出さない」先生も38.1%と4割近くもいた。

同じ表で、県別に先生が宿題を出す頻度に差があることがわかった。もっとも頻度が高いのは岡山県で、「授業のたび」に宿題を出す先生が23.1%、これに「2、3回に1回」を足すと授業3回に1回以上宿題を出す割合は50.3%と5割になる。反対に、今回の対象となつた都県で宿題を出すのがもっと少ないのは東京都で、授業3回に1回以上宿題を出す割合は22.0%と岡山県よりも30%近く少ない。また、新潟県も24.2%と少なくなっている。

図2-1で、担当教科ごとに先生が宿題を出す頻度が、大きく異なっている。「授業のたび」と「2、3回に1回」を合計して、もっとも頻度の高いのが外国語の71.5%、続いて13%離れて数学の58.8%、さらに25%離れて国語の33.5%となっている。そして、社会と理科はさらに少なくなつて、外国語よりも50%以上も少ない19.5%と17.2%である。

次に、主たる担当学年別にどのくらいの頻度で宿題を出すかみてみよう(図2-2)。この図をみると、担当学年ごとに宿題を出す頻度の差は小さい。もっと多いのは生徒が中学での学習になれている2年生を主として担当している先生で37.8%であるが、続いて、1年生の先生が34.2%、そしてもっと少ないのが入試を控えた3年生の先生で31.0%である。2年生と3年生で差は7%ほどであった。

表2-1 どのくらい宿題を出すか(都県別)

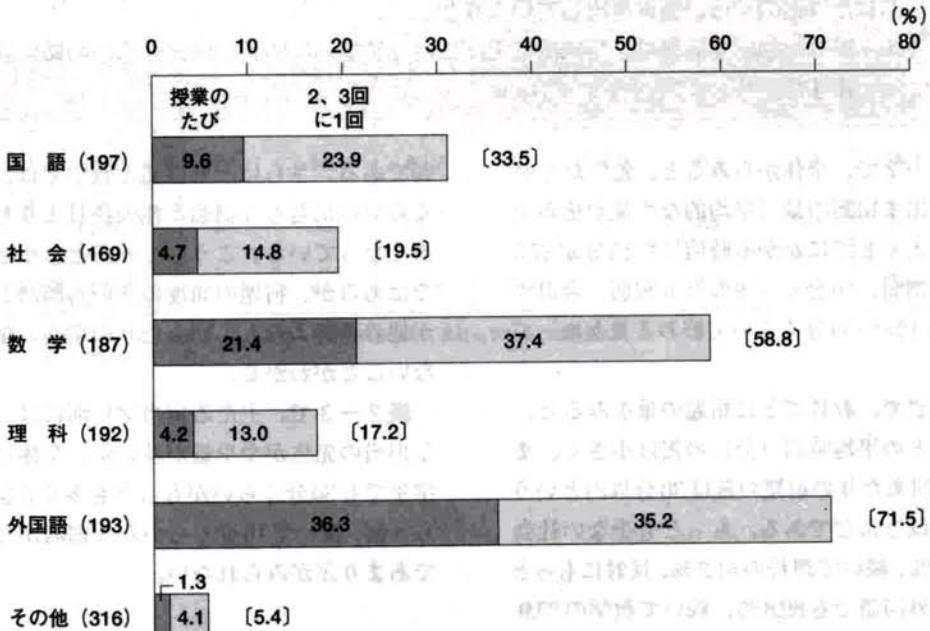
(%)

	授業のたび	2、3回に1回	小計	4、5回に1回	月に1回	ほとんど出さない	無答不明
岩手県(209)	8.1	21.5	29.6	25.4	7.7	35.4	1.9
新潟県(264)	4.5	19.7	24.2	19.7	10.6	45.1	0.4
東京都(196)	7.7	14.3	22.0	15.3	14.8	46.9	1.0
岡山県(294)	23.1	27.2	50.3	15.3	6.8	27.2	0.3
福岡県(205)	11.2	18.0	29.2	15.6	15.1	39.5	0.5
熊本県(200)	12.5	20.5	33.0	19.5	8.0	37.5	2.0
全 体(1368)	11.7	20.7	32.4	18.3	10.2	38.1	1.0

注) () 内はサンプル数。

図2-1 どのくらい宿題を出すか(教科別)

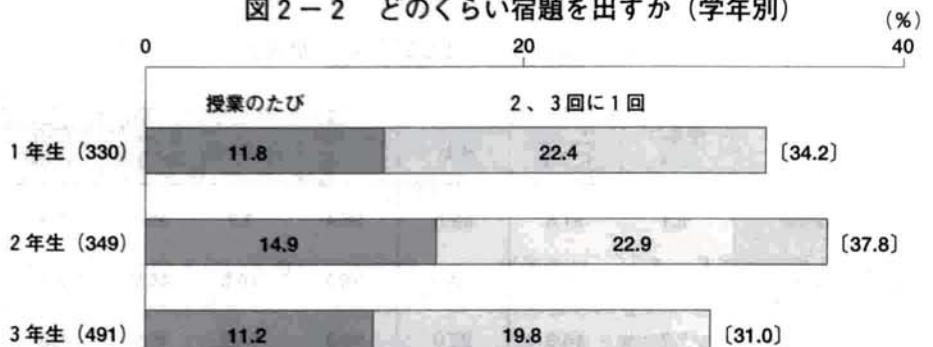
(%)



注1) [] 内の数値は「授業のたび」と「2、3回に1回」の合計。

注2) () 内はサンプル数。

図2-2 どのくらい宿題を出すか(学年別)



2. 宿題の量(平均的な生徒にとってどのくらいの時間がかかる量か)

【1回に出す宿題の量(時間)は、平均的な生徒が宿題をやり終えるまでに、15分が3割弱、30分が6割弱、合計すると85.4%が30分くらいで終わる量となっている。教科ごと

では、宿題の頻度の多かった外国語と数学でやや時間が短い傾向がある。主たる担当学年別には、あまり差がみられない。】

Q5. 宿題や家庭学習についてうかがいます。

A. あなたはどのくらい宿題を出していますか。

SQ1. あなたが出す宿題は、平均的な生徒にとってだいたい1回何分くらいの量になりますか。

表2-2で、全体からみると、先生たちが1回に出す宿題の量(平均的な生徒が宿題をやり終えるまでにかかる時間)は、15分が27.5%と3割弱、30分が57.9%と6割弱、合計すると85.4%が30分くらいで終わる量となっている。

同じ表で、教科ごとに宿題の量をみると、教科ごとの平均時間(分)の差は小さく、また、1回あたりの宿題の量は30分以内という教科がほとんどである。もっとも少ない社会で79.2%、続いて理科の81.2%、反対にもっとも多い外国語でも89.8%、続いて数学の88.9

%である。さらに、外国語と数学では、15分くらいの宿題も3割強と他の科目よりもやや多くなっている。こうしてみると、小さな差ではあるが、宿題の頻度の多い外国語と数学が他の教科よりも1回あたりの宿題の量が少ないことがわかる。

表2-3で、主たる担当学年別には、1年生担当の先生がやや量が多いが、全体にどの学年でも30分くらいがもっと多く5割強から6割、続いて15分くらいが3割弱から3割であり差がみられない。

表2-2 平均的な生徒にとってどのくらいの時間がかかる量か(教科別)

	15分	30分	小計	45分	1時間	それ以上	無答・不明	平均(分)
国語(197)	19.9	67.5	87.4	6.6	4.6	1.3	0.0	30.1
社会(169)	25.0	54.2	79.2	9.4	5.2	4.2	2.1	31.1
数学(187)	30.5	58.4	88.9	7.8	1.3	1.3	0.6	27.6
理科(192)	26.5	54.7	81.2	7.7	6.8	2.6	1.7	30.2
外国語(193)	32.3	57.5	89.8	5.4	3.0	0.6	1.2	26.9
全體(1368)	27.5	57.9	85.4	7.1	4.2	2.0	1.3	29.0

注) () 内はサンプル数。

表2-3 平均的な生徒にとってどのくらいの時間がかかる量か(学年別)

	15分	30分	小計	45分	1時間	それ以上	無答・不明	平均(分)
1年生(330)	27.6	55.6	83.2	6.1	7.9	0.9	1.9	29.1
2年生(349)	31.1	55.6	86.7	7.1	2.7	2.7	0.9	28.6
3年生(491)	25.8	61.1	86.9	7.0	3.4	1.7	1.0	28.9

注1) 宿題を「ほとんど出さない」「無答・不明」は除外して集計している。以降同じ。

注2) () 内はサンプル数。

3. 宿題は予習的か復習的か

【全体では7割の先生が「復習的な内容が多い」としている。また、教科別に差異があり、数学では96.1%と20人のうち19人までが「復習的」と答え、理科でも10人のうち9人までが「復習的」と答えている。これに対して、予習的な内容が多い（「予・復半々」を含む）のは、国語が41.0%、外国語が39.0%、社会

が36.5%という順になっている。また、宿題が予習的か復習的かは主として担当している学年ごとにやや異なる。3年生を担当している先生でもっとも復習的な内容が多く8割弱、これに対して1年生担当では7割弱、2年生担当では65.8%となっている。】

Q5. 宿題や家庭学習についてうかがいます。

A. あなたはどのくらい宿題を出していますか。

SQ2. あなたが出す宿題は予習的な内容が多いですか、それとも復習的な内容が多いですか。

表2-4は宿題の内容が復習的か予習的かをたずねた結果である。まず、全体では70.9%、7割の先生が復習的な内容が多いとしている。しかし、教科別に差異があり、数学では96.1%と20人のうち19人までが「復習的」と答えている。また、理科も89.7%とおよそ10人のうち9人までが「復習的」という高い値になっている。これらの科目は、学校で習うまでは自分で学習できにくいタイプの科目である。

これに対して、復習的な内容が少なく予習的な内容が多いのは（「予習的な内容が多い」と「半々くらい」を合計すると）、国語が41.0%、外国語が39.0%、社会が36.5%の順にな

っている。これらの科目は、単語や漢字を調べたり、あるいは簡単な指示で家庭で学習の準備をしてくことができるなど、事前の学習が必要であり可能であり有効でもある科目である。

宿題が予習的か復習的かは、その先生が主として担当している学年ごとにやや異なる。3年生を担当している先生でもっとも復習的な内容が多く78.2%、8割弱。これに対して1年生担当では69.6%、7割弱。そして、2年生担当では65.8%と全体のおよそ3分の2となっている。2年生担当の先生は3年生担当の先生よりも12%少なくなっている。

表2-4 宿題の内容は予習的か復習的か（教科別・学年別）

	予習的な 内容が多い	復習的な 内容が多い	半々くらい	その他	無答・不明	(%)
①全体 (1368)	12.9	70.9	12.9	2.0	1.2	
②教科別						
国語 (197)	18.5	57.0	22.5	2.0	0.0	
社会 (169)	24.0	59.4	12.5	2.1	2.1	
数学 (187)	1.9	96.1	1.3	0.0	0.6	
理科 (192)	4.3	89.7	0.9	3.4	1.7	
外国語 (193)	17.4	60.5	21.6	0.0	0.6	
③担当学年別						
1年生 (330)	13.6	69.6	13.6	1.9	1.4	
2年生 (349)	16.0	65.8	14.7	2.7	0.9	
3年生 (491)	9.1	78.2	10.4	1.3	1.0	

注) () 内はサンプル数。

4. 宿題の内容

【宿題の内容を6つに分けて宿題に出す頻度をみると、「よく出す」「たまに出す」を合計してもっと多いのが、「B. 学校指定の副教材・問題集」の75.9%。2番目に多いのは「C. 自作プリント」で60.3%である。副教材や問題集、自作プリントが宿題の中心になっている。これに対して、「A. 教科書の問題」は48.6%であり、教科書の問題を家庭に持ち込む割合はおよそ5割である。また、「D. 定期試験対策になる内容」は48.2%、「F. 高校入試対策になる内容」は29.5%と試験や入試を意識した宿題は少ない。

担当教科別に、宿題の内容はかなり異なる。

Q5. 宿題や家庭学習についてうかがいます。

A. あなたはどのくらい宿題を出していますか。

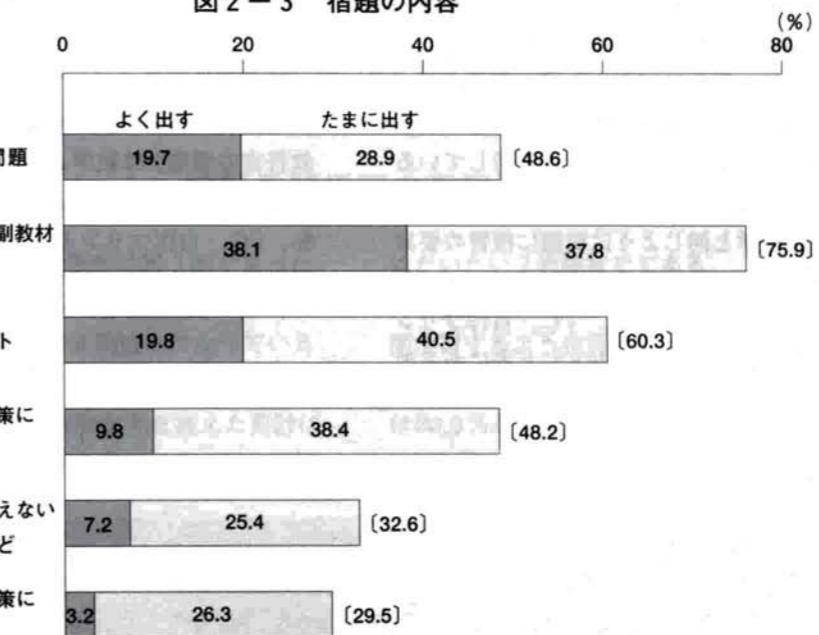
SQ3. 宿題としてどのような内容のものを出していますか。1)~6)のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。

図2-3で、宿題の内容を6つに分けて、宿題として出す頻度をたずねたところ、内容ごとに頻度が大きく異なっていた。「よく出す」「たまに出す」を合計して、もっと多いのが、「B. 学校指定の副教材・問題集」で75.9%。2番目に多いのは「C. 自作プリント」で60.3%。副教材や問題集、自作プリントが宿題として多く出されている。続いて、「A. 教科書の問題」は、48.6%とおよそ5割弱であり、教科書の問題を家庭に持ち込む割合は決して少なくない。「D. 定期試験対策になる内容」は48.2%、「F. 高校入試対策になる内容」は29.5%と試験や入試を意識した宿題、特に入試を意識した宿題は少ない（中学3年生でも3割台でしかない）。

次に、表2-5で担当教科別に宿題の内容をみると、担当教科ごとに宿題の内容はかなり異なる。国語では、「C. 自作プリント」が67.5%、「E. 授業では扱えない調べ学習など」が46.4%と他の教科よりも多くなっている。

国語と社会は、「自作」であるとか「調べ学習」といった言葉がキーワードとなっている。社会ではさらに、「A. 教科書の問題」が少ないので特徴である。数学では、「A. 教科書の問題」が非常に高い値になっている。理科は「A. 教科書の問題」は少なく、「B. 学校指定の副教材・問題集」を使っての宿題が多くなっている。最後に外国語では、宿題の内容が数学ほど復習の要素が多くないので、「A. 教科書の問題」は数学よりも30%少ない。そして「B. 学校指定の副教材・問題集」や「C. 自作プリント」が多い。】

図2-3 宿題の内容



注1) [] 内の数値は「よく出す」と「たまに出す」の合計。

注2) サンプル数は1368人。

表2-5 宿題の内容（教科別）

	国語 (197)	社会 (169)	数学 (187)	理科 (192)	外国語 (193)	全 体 (1368)
A.教科書の問題	41.7	28.1	79.9	37.6	49.7	48.6
B.学校指定の副教材・問題集	77.4	70.8	76.0	87.2	82.6	75.9
C.自作プリント	67.5	69.8	54.5	49.6	68.8	60.3
D.定期試験対策になる内容	53.6	58.3	37.0	49.6	50.3	48.2
E.授業では扱えない調べ学習など	46.4	40.6	15.6	25.7	32.4	32.6
F.高校入試対策になる内容	34.4	31.3	31.1	26.5	31.7	29.5

注1) 数値は「よく出す」と「たまに出す」の合計。

注2) () 内はサンプル数。

注3) = --- は本文中で扱った数値。

以上引き離して非常に高い値になっている。これに対して、「D. 定期試験対策になる内容」は37.0%と低い値になっている。すでにみたように、数学は宿題に復習の要素が強いのであるが、他の教科と比べて教科書の消化と定着が重要でありかつそれに苦労している教科といえるのではないだろうか。

理科は数学と同じように宿題に復習の要素が多いが、「A. 教科書の問題」は37.6%と少ない。だからといって、「C. 自作プリント」が多いわけではなく49.6%と表にある教

科の中でもっとも少ない。そしてそれらに代わって「B. 学校指定の副教材・問題集」を使っての宿題が87.2%と多くなっている。

最後に外国語では、すでにみたように数学ほど宿題に復習の要素が多くないので、「A. 教科書の問題」は数学よりも30%少ない。そして「B. 学校指定の副教材・問題集」が82.6%、「C. 自作プリント」が68.8%と副教材・問題集・プリントが多い。